

市内の小・中学校ではこんな授業を行っています

問合せ先 教務課教務係 ☎72-2111 内線515

市内各小・中学校では、子どもたちの『生きる力』の育成をめざし、知徳体をバランスよく育むために日常的に校内研究を進めるとともに、日々熱心に学力向上に向けた「授業づくり」に取り組んでいます。

昨年秋、2つの小・中学校で研究発表会が行われました。2校の取組を紹介します。

今回紹介する研究発表会でも、小・中学校の校種を超えて「市内研修」の場として多くの先生が参加し、お互いの実践を交流し合うことができました。

このような取組みを踏まえ、今後子どもたちの豊かな心、健やかな体などの育成とともに市の小・中学生のさらなる学力向上を目指していきます。

数理を自ら見出す子どもを育てる

算数科学習指導

大原小学校



グループで考えを伝え合う

大原小学校は、学習と生活の基盤をしっかりとつくるために「大原小スタンダード」を作成するとともに、全ての子どもたちに学習内容が身に付くような授業づくりに取り組んでいます。

算数の学習を中心に、子どもたちが友だちと教え合ったり、尋ね合ったりしながら学習を進めることで、見通しをもって課題を追究し、筋道を立てて考え、自分の考えをみんなの前で意欲的に発表し合う子どもたちが育っています。



全体交流で考えを表現

低学年では、友だちとペアで計算ゲームを行ったり、計算方法を理解するためにグループでの話し合いや教え合いの活動を、中学年では、買い物の場面などでの買い方やペアやグループで計算の仕方を話し合ったり、考えたりする活動を、高学年では、図形の面積の求め方、比の考え方やきまりを追究し、自分の考えを友だちと交流し、確かにしていく活動を行っています。これらの活動を通じ、自分の考えをしっかりともち表現し合いながら理解を深めることができます。

生徒の自己学習力を高める学習指導

大原中学校

大原中学校は、基本的な学習規律を育成するため「大原中 学びの十力条」を作成するとともに、子どもたちが、自分の学びを客観化して、よい手立てを見出し、解決していこうとする自己学習力を高める学習活動を行っています。

例えば、2年生理科の「酸化と還元」の学習では、実験を通して、「銅、炭素、マグネシウム」の中で最も酸化しやすいものについて根拠を基に説明するという課題が設定されました。

課題解決に向け、子どもたちは自分で見通しを立て、実験結果と既習の学習内容を関連付けて考えました。

次に、班で、ホワイトボードに、原子・分子モデルを用いて互いの考えを图示して交流しました。さらに、全体で意見交流を行った後、個人で考え、学習で自分がわかったこと、わからなかったこと



交流活動で考えを深めて

（内容・方法）について「自己評価活動」を行いました。

このような授業を他の教科や領域でも重ねる中で、子どもたちに、「なぜ、自分がそのように考えるのか」の説明を工夫し、「友だちがなぜそう考えるのか」を理解しようとする学習の進め方ができるようになりました。

このように、子どもたちが、基礎・基本を確実に身に付け、論理的に思考し、表現する力を高め、互いのよさを認め、伸ばす授業が行われています。